

鳩山首相が退陣



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
©山形新聞社 2010

号外

普天間移設問題

沖縄県宜野湾市の市街地にある米軍普天間飛行場を移設させる問題。1995年の米兵による沖縄少女暴

行事件を契機に、日米両政府は96年、返還で合意、日本政府は99年に同名護国市辺野古沿岸域への移設を閣議決定した。2002年に

空港を埋め立てて造る計画を決定。両国は06年に移設先を辺野古のキャンプ・シユワブ沿岸部へ変更し、14年までの移設で合意した。その過程で、米側は辺野古

の南西沖合に1800メートルの滑走路を造る案を主張していた。鳩山政権は移設先の再検討を掲げ、鳩山由紀夫首相は5月末までに決着させる考えを表明していた。

選で圧勝。鳩山氏が第93代首相に選出され、社民、国民新党との連立で鳩山政権が発足した。

重い首相責任

小沢氏も幹事長辞任 普天間、社民離脱で引責



民主党の両院議員総会で退陣を表明する鳩山首相。2日午前、国会

鳩山由紀夫首相(63)は2日、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設問題をめぐる社民党の連立離脱など政権運営の混乱の責任を取り、退陣する意向を表明した。民主党の緊急両院議員総会で「私自身もこの職を退かせていただく」と述べた。首相は小沢一郎幹事長(68)に辞任を求め、小沢氏も了承したことを明らかにした。

内閣や党の支持率の低迷で、7月に想定される参院選で改選を迎える議員らの中で退陣論が強まっていた。昨年9月の政権交代から8カ月余りでの退陣となる。

鳩山内閣は近く総辞職。衆院で多数を占める民主党は後継代表の選出を急ぎ、首相指名を経て政権を維持する方針だ。次期首相候補には、菅直人副総理兼財務相(69)らの名が挙がっている。

普天間問題で日米両政府は移設先を現行計画とほぼ同じ名護市辺野古崎地区とすることで合意。「最低で

歴史的な政権交代の顔だった鳩山由紀夫首相が就任8カ月余りで退陣に追い込まれた。「このままでは参院選惨敗は必至」との民主党内の危機感が、続投を望んだ首相を津波のようにのみ込んだ形だ。この事態を招いた最大の原因は、米軍普天間飛行場移設問題の迷走に象徴される首相の政治指導者としての資質、能力の欠如にある。政権交代への国民の期待を失望に変えた責任は限りなく重い。

だが、その責任は民主党全体が負うべきものだ。事業仕分けは高い評価を得たものの、衆院選マニフェスト(政権公約)に掲げた「税金の無駄遣い根絶」には遠く、総予算の組み替えでマニフェスト実現の財源を捻出(ねんしゅつ)する約束も実現のめどは立っていない。鳴り物入りの「政治家主導」も空回り続きた。難しい政策調整を首相、内閣任せにしてきた党側の対応も無責任のそしりを免れない。

問われているのは民主党としての政権担当能力であり、顔をすげ替えれば国民の期待は戻ると考えるのは早計だ。

鳩山内閣の反省を踏まえ、政権をどう立て直すか。新代表には、政策の優先順位と政策決定の在り方について明確な方針を示すことが求められる。首相と小沢一郎幹事長の「政治とカネ」問題にけじめをつけることも信頼回復の条件になる。